

# かけはしコラム

## ～ 「ハート(心)」の価値の大きさ ～

二学期も終わりに近づいてきました。クリスマスプレゼントは、ごほうび目指した二学期の頑張りだったことでしょう。形あるものは、子どもにとっても、大人も伝えやすいです。“親の心子知らず”とは親が子に抱いている愛情を子どもは全く気が付かない、また親からの愛情とは自分が親になってみなければ気が付かないという意味があるそうです。基本的に子どもとは自由気ままな存在でありますが、どんなにわんぱくで手がかかる子どもだったとしても親は深い愛情を抱いているものです。そんな親の意を子どもが汲み取ることは難しく、理解されることは難しいという意味のことわざになります。親の心子知らずの対義語として“子の心親知らず”ということわざもあります。これは、親が想像している以上に子どもは様々なことを考えており、また努力しているという事です。子どもの成長の速度に対して親の理解が追いつかない…。そんなことが双方に繰り返されるのが、子育てではないでしょうか。校園でも一番愛してほしい人にわざと嫌な言い方や関りをして、それでも見捨てられないという愛情確認をしている子がいます。子ども自身が素直に「愛してほしい」メッセージを出せると、受けとめる大人も肯定的に愛しお気持ち態度に出やすいです。しかしながら、愛情欲求の姿が受け入れにくい姿だと誰でも疲れます。もし、お互いの関係性が上手くいっていないとき「無条件の愛」について、少しふり返って頂くだけで、まなざしから変わります。すると、高価なプレゼント以上に、子どもが実はよく頑張る姿が見えるかもしれません…。子どもは大好きな人に見てもらうことが最大のごほうびです。



## 条件付きの承認でなく 無条件の愛のシャワー

結果も大事ですが、**プロセス**に注目を!!

無条件の・・・  
 「あなたが あなただから 大好き」  
 「そこに居てくれるだけでありがとう」  
 「生まれてきてくれただけで幸せ」



### ひとりの人として 尊重される

身近な大人は…子どもの感じていること【様々な感情】を理解し、共有・共感し、ことばに耳をしっかりと傾ける。ありのままを受けとめてもらえる安心がベースにあった上での存在承認が必要です。**安全基地の機能**。

どんな自分でも愛してくれる人がいると心から信じると、自分を取り巻く世界に積極的に関わっていくことができ、他者にも思いやりをもって接していける

“わたしは 大切な人間であり 生きている価値があるすばらしい人間なのだ”と、**自分自身を信じる**ことができるようになる。

揺るぎない **「こころの 根っこ」** となり、  
 ▶ **無限の可能性を発揮**して、**どんな状況でも生きていける**力に…